



★阿毘縁の祝言唄



★福栄のかしらうち



★上三栄の餅つき唄



★人生学園の交流会で小学3年生の児童は、昔の遊びを覚えてもらいました



★お年寄りを悪質商法や詐欺から守る啓発活動として、まめな会等で紙芝居をしています



★雪の贈り物の詰まった箱を、中庭から玄関に運びました



★霞の地しめ唄



★日南神楽

日南町に住んでいながら日南町の伝統芸能を鑑賞する機会が少ない。そんな人たちに鑑賞してもらおうと、伝統芸能の継承に取り組んでいる団体を一堂に集め披露する「日南の四季〜継承〜」(主催・日南文化伝承の会 会長・大柄重人さん)が、1月23日、さつきホールで開催され満員のお客様でにぎわいました。

町の伝統芸能が一堂に「日南の四季」開催

ステージでは、『丸山の田植唄』『神戸上の田植唄』『奥日野木挽き唄』『霞の地しめ唄』『山上の盆踊り』『日野源流太鼓』『阿毘縁の祝言唄』『日南神楽』『福栄のかしらうち』『多里かしらうち』『大宮のみそつき唄』『三栄の餅つき唄』の12の伝統芸能が、それぞれ町内12の団体により披露され、満場の拍手を浴びていました。

源流サミット 林業再生への取り組み

鳥取県の三大河川の源流を持つ日南町、三朝町、智頭町の源流3町によって平成14年から開催しているシンポジウムが今年も日南町で開かれ、会場の健康福祉センター研修室は80人を超える参加者で満員になりました。鳥取大学地域学部の永松大准教授による『FSC森林認証制度の活用について』と題した基調講演の後、パネルディスカッション「中山間地域林業の再生に向けて」では、各町それぞれの取り組みが町長から報告されました。増原町長からはFSCを活用した林業のシステム化、ブランド化への取り組みが発表されました。



★基調講演を行う永松大准教授

日南小学校から 宮崎日南へ雪の贈り物

1月31日、宮崎県日南市の小学校へ雪の贈り物をするため、日南小学校の児童会運営委員の5、6年生7人が、学校の中庭で雪を発泡スチロールのケース6箱に詰め、発送の準備をしました。このプレゼントは日南町商工会と日南市商工会議所の連携交流事業として続いているものです。詰められた雪は、午後11時に小学校を出発。翌日2月1日午後2時には、今年の贈り先の日南市立吾田東小学校に到着し、楽しみに待っていた1年生たちの目の前に披露されました。その後、児童たちは、雪だるまをつくったりして大はしゃぎで雪遊びを楽しみました。



★雪の贈り物の準備をした運営委員

新嘗祭種子引渡式 北垣さんから森木さんへ

北垣寿成さん(茶屋)の献穀米奉仕者としての最後の行事、新嘗祭御献穀斎田種子引渡式が、2月17日、日南町総合文化センター多目的ホールで行われ、引き渡し側の日南町の関係者と引き受け側の若桜町の関係者が参列しました。引き渡しの挨拶で、北垣さんが献納式に夫婦で皇居に招かれた感動と周りの方々への感謝を述べた後、布袋に入れられた献穀米の種子は北垣さんの手から増原町長へ、そして小林若桜町長へ、平成23年度奉仕者の森木節幸さんへと順々に渡りました。種子を引き受けた森木さんは、「北垣さんを参考にしながらがんばります」と意気込みを語りました。



★北垣さんから森木さんへ抜穂の引渡し

日南町3団体が 鳥取県消防表彰

2月10日、倉吉で開かれた鳥取県消防大会で、日南町消防団、福栄連合自衛消防団、多里まちづくり推進協議会が鳥取県消防表彰を受賞しました。2つの消防団は、昨年7月に発生した豪雨での水防活動において被害拡大を防止したとして、また多里まち協は昨年8月の行方不明者捜索への貢献を表彰されたものです。

日南中学校青田博道先生 文部科学大臣より表彰

日南中学校の青田博道先生が、平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰を受賞されました。青田先生は、平成9年より日南中学校ソフトテニス部の顧問として優れた技術指導を行い優秀な成績に導くとともに、人格形成の大切さに重点を置いて指導してこられました。この実績が高い評価を受け、この度の受賞となりました。



★青田博道先生

坪倉司さん 農林水産大臣より表彰

昭和35年より国勢調査、経済センサス基礎調査などの調査員・指導員を11回務められた坪倉司さん(茶屋)が、平成22年度農林水産大臣表彰を受賞されました。この度の受賞は、2010年世界農林業センサスの指導員として、過去の豊富な経験から調査員に的確な指導をされ、堅実に任務を遂行されたことに対して贈られたものです。



★坪倉司さん



★左から、福栄連合自衛消防団長 埜内克己さん、日南町消防団 木山宗司さん、多里まちづくり推進協議会 山形美智也さん